

滋賀レイクスターズの新リーグ参入について

政策・土木交通常任委員会資料 3
 平成27年(2015年)9月9日(水)
 総合政策部企画調整課

1 新リーグ参入に向けての最近の動きについて

平成27年

□7月21日(火) 自治体支援文書提出(県→(レイクス)→JPBL)

○ 地元自治体としての支援文書を提出[裏面のとおりに]

□7月30日(木) 所属リーグ(3階層のチーム振り分け)決定<第1弾>

○ 1部 12チーム、2部 5チーム、3部 3チーム ※滋賀レイクスターズは保留

□8月4日(火) 新リーグ発足後、県立体育館をホームアリーナとし、ホームゲーム8割使用について今後関係者との調整に努めることを確認

□8月21日(金) 県立体育館増席案の確認

○ レイクスが、1部参入に向けた可能性を検討される中で、県立体育館においてどれぐらいの収容が可能かについて、県と指定管理者である滋賀県体育協会と協議しながら改めてシミュレーションされた結果、レイクスから、法令上や安全上の問題を克服した形で5,000人収容できる計画案の報告を受け、その内容を確認した。

◇県立体育館増席案

階	収容人数		階	収容人数	
1階	フロア席(既存分)	1,302人	2階	固定席	1,896人
	フロア席(増席分)	600人		立ち見席	651人
	ステージ席	185人			
	立ち見席	382人			
	小計	2,469人		小計	2,547人
合計				5,016人	

□8月29日(土) 所属リーグ(3階層のチーム振り分け)決定<第2弾>

○ 1部 18チーム、2部 18チーム、3部 9チーム(第1弾を含む)

※滋賀レイクスターズは1部リーグ決定

◇新リーグの振り分け結果

1部 (18チーム)	【東地区】北海道、仙台、秋田、リンク栃木、千葉、トヨタ自動車東京 【中地区】日立東京、東芝神奈川、横浜、新潟、富山、浜松・東三河 【西地区】アイシン三河、三菱電機名古屋、滋賀、京都、大阪、沖縄
2部 (18チーム)	【東地区】青森、岩手、山形、福島、つくば、群馬 【中地区】信州、東京Z、東京EX、豊田通商、奈良、西宮 【西地区】高松、広島、島根、大分・愛媛、熊本、鹿児島
3部 (9チーム)	東京海上日動、八王子、埼玉、東京、大塚商会、 アイシン・エイ・ダブリュ、豊田合成、石川、福岡

2 今後の対応について

レイクスの1部リーグ参入決定を受け、より一層県の施策との連携を図りながら、ホームアリーナとなる県立体育館の使用などの支援について、レイクスと協議をしていく。

一般社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ
理事長 川淵 三郎 様

滋賀県知事 三日月 大造

滋賀レイクスターズへの支援について

本県は、株式会社滋賀レイクスターズが運営するバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」の一般社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグへの入会およびその活動を下記のとおり支援します。

県として、滋賀レイクスターズの1部リーグ参入を要望します。

記

1. 広報活動等の支援

広報誌や新たに構築するスポーツ情報総合発信サイトなど、県の様々な広報媒体を活用して、滋賀レイクスターズの魅力や活動状況を県内外に発信します。

2. 応援機運の醸成

「文化とスポーツの力」を活かした元気な滋賀を創造するため、県民をあげて滋賀レイクスターズを応援する機運を醸成します。

- ・ トップアスリート等と県民との交流機会の創出
- ・ 子どもたちの観戦機会の創出

3. 県の施策との連携

滋賀レイクスターズの公式戦の場や県内イベントを活用した人権啓発活動等を滋賀レイクスターズと連携して取り組み、そうした社会貢献活動を支援します。

4. その他

今後、県立社会体育施設のあり方を検討する中で、県立体育館の整備を検討します。

以上